

製品名: HP1 アルファ (3G2) マウスモノクローナル抗体

カタログ番号: AMM03419

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG2b
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 22 kDa; Observed MW: 26 kDa

抗原情報

遺伝子名	CBX5
別名	CBX5; HP1A; Chromobox protein homolog 5; Antigen p25; Heterochromatin protein 1 homolog alpha; HP1 alpha
遺伝子 ID	23468
SwissProt ID	P45973
免疫原	ヒト HP1α の合成ペプチド

背景

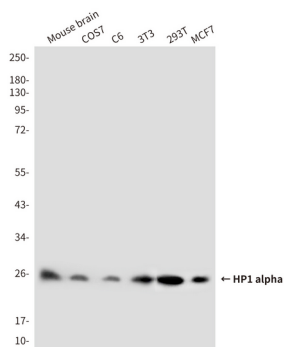
ヘテロクロマチンの構成要素で、ヒストン H3 末端の Lys-9 メチル化 (H3K9me) を認識して結合し、エピジェネティックな抑制を引

き起こす。一方、ヒストン H3 の Tyr-41 がリン酸化 (H3Y41ph) されると、クロマチンから排除される。ラミン B 受容体 (LBR) と相互作用する。この相互作用は、ヘテロクロマチンと核内膜の結合に寄与する。MIS12 複合体タンパク質との相互作用を介して、機能的なキネトコアの形成に関与する。

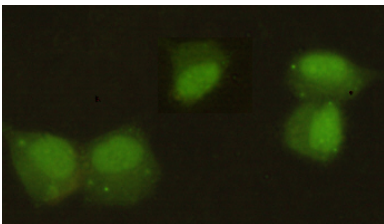
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

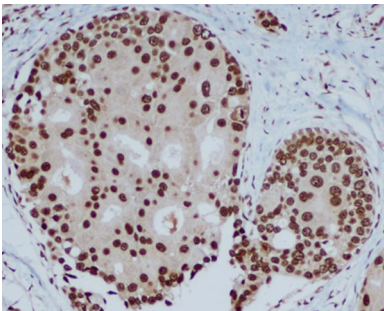
画像データ



HP1 アルファ抗体を使用した、MCF-7、293T、3T3、C6、COS7 およびマウス脳溶解物中の HP1 アルファのウエスタンブロット分析。



HP1 アルファ抗体を用いた HeLa の HP1 アルファ (3G2) の免疫細胞化学分析。



HP1 アルファ抗体 (3G2) を使用したパラフィン包埋ヒト乳癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。